



ホームページ QRコード

令和元年度
N 0 . 1 6 臨時号
京都市立伏見住吉小学校
6 1 1 - 5 2 4 3
校長 村山 得太朗

R01第2回学校評価質問紙回答より

浅春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本校教育にご理解ご支援いただき、厚く御礼申し上げます。新型コロナウィルス感染症対策として臨時休業が続いておりました。その間の子どもたちはいかがお過ごしだったでしょうか。子どもたちが元気に学校生活を送ることができる日常が戻ってくることを待ち望んでいます。

さて、2月には学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。以下に質問紙回答結果の報告をさせていただきます。結果と共にこれまでの教育活動を振り返り今後の改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

児童

質問項目	実現度
学校の学習がよくわかること	8.1
話をしっかりと聞くこと	8
相手にわかるように話すこと	7.6
自分の思いや考えを書くこと	8.1
毎日、家庭学習をすること	8
毎日、家で読書をすること	6.1
楽しく学校に通うこと	8.7
友だちとかよくし、力を合わせること	8.6
友だちやまわりの人たちを大切にすること	9
進んであいさつをすること	8
場に応じた言葉づかいをすること	8.3
学校や学級のきまりを守ること	8.3
「早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの生活リズムを付けること	7.9
運動に親しみ、健康な体をつくること	8.4
食の楽しさを味わい、進んで食べること	8.7
危険から身を守り、安全に生活すること	8.9
こまつことがあったとき、家人や先生にそうだんすること	7.9
学校をきれいにするために、そうじすること	8.7
学校・PTA・地域の行事に参加すること	7

10 ポイント (10 p) 満点で表示。

R01 第1回学校評価と比べ

0.5 p 以上の上昇に ↑ 下降に ↓ を記す。

保護者

質問項目	実現度
基礎的な学習内容を理解すること	7.4
話をしっかりと聞くこと	7
相手にわかるように話すこと	6.7
自分の思いや考えを書くこと	6.6
家庭学習の習慣を身に付けること	7
読書の習慣を身に付けること	6.1
楽しく学校に通うこと	8.4
なかよく協力し合って学校生活を送ること	8
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもつこと	7.9
進んであいさつをすること	6.9
場に応じた言葉づかいをすること	6.6
ルールを守り、マナーを身に付けること	7.4
「早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの習慣を付けること	7.4
運動に親しみ、運動能力を向上させること	7.6
食の楽しさを味わい、進んで食べること	8
危険から身を守り、安全に生活すること	7.6
こまつことがあったとき、家人や先生にそうだんすること	7.1
教職員に気軽に相談できること	6.7
教室・廊下等の環境が整備されていること	7.3
子どもに学校の様子を聞くこと	7.3
学校・PTA・地域の行事に参加すること	6.4
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てるこ	7

地域

質問項目	実現度
学校が児童の学力向上に取り組むこと	7.9
子どもたちが、進んであいさつをすること	6.9
子どもたちが、場に応じた言葉づかいをすること	6.4
子どもたちがルールを守り、マナーを身に付けること	6.4
子どもたちが運動に親しみ、運動能力を向上させること	7.1
子どもたちが危険から身を守り、安全に生活すること	7.1
学校便り・ホームページ等で情報を発信すること	8.1
学校の教育環境が整備されていること	7.6
教職員がPTA・地域の行事に参加すること	6.4
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てるこ	7.1

教職員

質問項目	実現度
基礎的な学習内容を理解する力を付けること	6.6
話をしっかりと聞く力を付けること	6.4
相手に分かるように話す力を付けること	5.7
自分の思いや考えを書く力を付けること	6.4
家庭学習の習慣を身に付けること	7.4
読書の習慣を身に付けること	7
楽しく学校に通っていること	7.7
なかよく協力し合って学校生活を送っていること	7.3
相手の気持ちを尊重できる優しい心をもっていること	7
進んであいさつをしていること	6.6
場に応じた言葉づかいをしていること	6.4
ルールを守り、マナーを身に付けていること	7.1
「早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの習慣を付けること	7.6
運動に親しませ、運動能力を向上させること	6.9
食の楽しさを味わい、進んで食べていること	8.1
危険から身を守り、安全に生活する力を付けること	7.6
学級・学校便り・ホームページで学校の様子を知らせること	7.4
子どもに関わるトラブルを家庭と密に連絡をとり、解決すること	7.9
教室・廊下等の環境を整備すること	7
家庭・地域と積極的に連携を図り、取組をすすめること	7
学校・PTA・地域の行事に参加すること	7
学校・保護者・地域が連携して子どもたちを育てること	7

結果分析について

春が待ち遠しいね



児童の結果

第1回と比べ、実現度に大きな差はありませんでした。その中でも「毎日、家庭学習をすること」が下降しました。9月に行った第1回のときに大きな上昇が見られた項目であり、児童の家庭学習に対する意欲と取り組みが年間を通して維持できなかったことがわかります。その背景には、宿題や課題がなければ、何をすればよいのか自分では分からない児童がいることが考えられます。指導者からの適切な課題を課すことはもちろん大切ですが、児童自身に自学自習力をつけることも大切であると感じています。「毎日、家で読書をすること」の項目が他の項目と比べ低い実現度であることも踏まえ、来年度は読書を含めた課題を見つけて取り組む力の育成に力を注ぎたいと考えています。

保護者の結果

第1回と比べ、各項目でわずかに上昇や下降はあるものの全体的に大きな変化はありませんでした。しかし、「学校・PTA・地域の行事に参加すること」において 0.5 p の下降が見られました。行事の参加に対する実現度の低下については、主催者や周知の方法、申込の仕方などが行事により異なること、また、年間計画の中に明確に位置づけられていないものもあることが理由として考えられます。主催者が異なる行事でも、協力する団体としては学校・PTA・地域は切り離せない関係です。今後とも、協力と連携を意識しながら、取り組むとともに、児童や保護者の方々への周知の仕方も考えていきたいです。

地域の結果

第1回より全体的に実現度が上がっています。特に、「子どもたちが、進んであいさつすること」の実現度に大きな上昇が見られました。第1回でも概ねよい評価をいたしましたが、年間を通して実現度が上昇したことはこれまでになかったことです。昨年度、この場で年間を通して継続的に取り組むことの必要性を述べました。今年度は、毎月の朝会では、校長が本校の目指す子ども像にある「素敵な笑顔であいさつすること」の大切さを児童に伝えてきました。年間2回のPTA活動「あいさつ月間」では、お忙しい中にも関わらずPTAの方々のご協力をいただきました。そして、1月に行った本校の教職員と代表委員会の児童による「あいさつ週間」における児童の「ベストあいさつ賞」の選出など、これらの取組が成果につながったのであります。来年度も継続して取り組むとともにさらに発展させていきたいと考えています。

教職員の結果

多くの項目で実現度が少し下降しました。特に「基礎的な学習内容を理解する力を付けること」について0.5pの下降が見られました。3年生以上の学年で行ったプレジョイントプログラム・ジョイントプログラムや6年生を対象に行った全国学力調査については全市平均や全国平均と比較しても本校の結果は同水準でありました。つまり、本校の教職員はこれらテストの結果を踏まえつつも、目の前の児童の様子をふり返り、まだまだ基礎学力を伸ばす必要があると捉えています。「『早寝・早起き・朝ごはん・排便・歯磨きの習慣を付けること』は、0.3p上昇しました。これは、年2回長期休業明けに行う生活チェック週間を中心に、家庭と連携をとりながら児童に適切に指導することができた結果です。さらに児童も自ら意識して取り組めるようになることで指導の効果も上がります。そのためには、ご家庭でのご協力が不可欠です。生活チェック週間以外でも、日々の生活を見直し、習慣化を目指していきたいと考えています。



第1回と比べて児童、保護者ともに実現度に大きな変化は見られませんでした。一方で、地域と教職員の実現度には大きな変化が見られるものもありました。その理由として、母数の違いが考えられますが、実現度が増減した項目数(△以外も含む)に注目すると、児童、保護者、地域、教職員すべてにおいて下降した項目が多くなりました。第1回と比べて多くの項目で実現度が下降したことについては、項目別にその理由を考えていく必要があります。そして、児童の実態を的確に捉え、保護者、地域、学校が一体となって取り組んでいかなければなりません。

来年度は、新学習指導要領の全面実施に伴い、教育内容にも大きな変化が見られます。本校では、目の前の児童の実態を捉え、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業を通して学びの質を高めること、日々の授業と家庭学習との連動を通して自学自習の習慣化を図ること、自他を大切にし「公共の精神」に基づく態度を育むことを目指し、それらを保護者、地域にも発信し、協力を求めていきたいと考えています。

確かな学力

基礎的な学習内容を理解することを課題として、今年度は算数科を切り口とした授業改善に取り組み、基礎的な学力の定着に成果が見られました。8割以上の児童において学習がよく分かっています。今後はさらに、授業のめあて・見通しの確認やまとめとふり返りを徹底することで、学習したことの価値や自分にとっての意義を確認できる授業を展開し、児童の意欲的に学ぶ姿勢を引き出したいと考えています。

家庭学習については、内容や方法を分かりやすく指導するとともに、提出物の内容や時期などについて家庭と連携・協力を図りながら工夫することが大切です。児童が、与えられた課題に取り組むだけではなく、自主学習など自らが予習・復習を意識して課題を設定し、計画を立てて取り組める力を育むことが課題として挙げられます。

豊かな心

楽しく学校生活を送ることに関する項目の評価が高いポイントで維持しています。また、友だちを大切にする優しい心をもつことやあいさつ、ルールやマナーに関する項目についてはまだまだ実現度の上昇が見込めます。そこで、互いを認め合い励まし合う集団作りに向け、児童会活動の活性化を目指し、児童の主体的・自発的な活動を尊重しつつ、指導を徹底していきたいと考えています。また、いじめはもちろん、SNSをはじめとするネットを介した誹謗中傷やトラブルの未然防止に努めるべく、児童の発達段階に応じて、社会の一員として必要な公共心や公徳心、生命を尊重する心を育てていきます。

健やかな体

児童や保護者の運動に親しむことに関する項目は全体的に高い評価です。それに比べて地域や教職員の評価はやや低い実現度となっています。今年度は、クラスごとに体育館を開放して運動に取り組む「体力アップ」を月に1回程度実施してきました。その成果については検証が必要であるとともに、さらに楽しみながら体力の増進が図れる取組を考えていく必要があります。また、健康的な保持増進や望ましい生活習慣の実践、飲酒・喫煙・薬物乱用等の有害性について、正しい知識を身に付け、自律的な行動ができるように指導を徹底していきます。

記述欄より

第1回同様、保護者の方々には、「ご家庭で効果的であった取組」について尋ねました。あいさつや読書、親子の会話、給食や体力作り、計算などにも取り組んでいるといった内容のものがあり、各ご家庭で工夫されていることが分かりました。忙しさの中にも大人が手本となるよう行動するといったことが共通点であるような感じを受けました。

今後とも、いただきましたご意見を真摯に受け止め、教職員一同が一丸となって本校の教育推進に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、学校質問紙へのご協力、ありがとうございました。

